


 なかやま ゆうじ
中山 勇治
 名古屋営業所 係長

現在、南星キャリアックス株式会社の名古屋営業所で係長の職に就いている中山勇治さん。2016年に運行管理者として名古屋営業所へ入社しました。勤務開始後から半年間は、トラックでの配送が中心でしたが、現在は、営業所内の総務、配車、経費売上管理、お客様への対応と、様々な業務を担っています。前職での経験や現在の取り組み、今後の目標について伺いました。

——前職ではどのような業務をされていたのですか。

大手コンビニエンスストアの配送を行っていました。トラックドライバーです。そこで運行管理者の仕事ぶりを見て、自分もやってみたいと思い、南星キャリアックスに応募しました。

配送の仕事に就く前は、コンビニエンスストアの雇われ副店長です。売上を管理したり、アルバイトスタッフを管理したりして店舗を切り盛りしていく経験は、今も大いに役立っています。

——具体的にどのような点が役立っていますか。

コンビニエンスストアの仕事は、一人では成り立ちません。働いてくれるスタッフさんが一番大切ですから、いかに気持ち良く働いてもらうか、どうすれば皆が働きやすくなるかを常に考えていました。

ドライバーさんたちの存在が欠かせない現在の仕事にも、あの頃に養われたコミュニケーションの取り方や、相手の気持ちに配慮する姿勢が役立てられているのではないかと思います。

——運行管理者としてのやりがい、どのようなところに感じますか。

入社当初から、配車だけでなく経費管理や総務、お客様への対応など、多様な業務を任されてきました。元々いた先輩たちの異動などによって、刷新されたメンバーの中に配属されたためです。プレッシャーはかなりあったもの

の、任せてもらっていることは誇りに思いました。

ドライバーさんたちの生活を預かる任務もあり、重責ですが、そこにやりがいも感じています。現状のコロナ禍の中であっても仕事をゼロにすることのないように、強い意志を持って業務にあたっています。

——自慢できる成果、こだわった仕事はありますか。

成果は、入社後の売上が右肩上がりが続いていることでしょうか。3年くらい前から自分も中心となって切り盛りさせてもらって



きた部分もあるので、毎年、目標を達成して、営業所の利益がどんどん上がってきているのは、自慢できる成果だと思います。もちろん、周りの人たちの力があっての成果です。

こだわった仕事は、スポット便を週に一度の定期便に昇格させたことです。100円ショップの配送を月に1回ほど受けていたのですが、不定期な依頼のためドライバーさんには頼みづらく、自分でトラックを運転して配送していたものです。所長やドライバーさんたちも一緒に取り組んでくれましたが、自分なりにこだわってきた案件なので、印象に残っています。

——挫折した経験はありますか。

自分で配送する機会が今でも時々あるのですが、その際に、自損事故を起こしてしまうこともありまして……。大規模ではないものの、やはり、とても落ち込みます。「運送会社の仕事は向いていないのだろうか」と悩んだときもあ

りました。

落ち込む私に励ましの言葉をかけてくれたのが、私と一緒に名古屋営業所を切り盛りしてくれていた梅澤係長です。「起こしてしまったものは仕方がない。ドライバーさんたちが同じような事故を未然に防げるように、この経験を展開して生かしていこう」と助言してくれました。

失敗を後悔するのではなく、その原因や理由を考えて次に生かす。仲間の言葉に救われたことで、挫折した経験も、前向きに捉えられるようになりました。

——今後の展望を教えてください。

「チームワークを大事にする名古屋営業所でいたい」という思いがあります。営業所の業績が最高潮だったのは、リーマンショック前。そのときの売上を超えることを目標に、ワンチームで結果を追い続けたいです。上司やドライバーさんなど、周りの皆さんに助けられているおかげで、事業所内



の関係性は良好です。でも、まだまだまとまれるはず。まとまることによつて、管理者・ドライバーさん問わず素敵なアイデアが生まれ、新規の仕事の獲得や経費削減にも繋がると信じています。そうすれば業績は必然的に伸びていくでしょう。そのためにも、もっと自分を磨いて、管理者としての能力を上げていきたいと思っています。

自ら望んで運行管理の職について以上、全力で業務に取り組みたい。そんな気持ち、語る言葉の一つひとつに溢れていた中山さん。これからも名古屋営業所の成長を加速させるべく、走り続けていくでしょう。